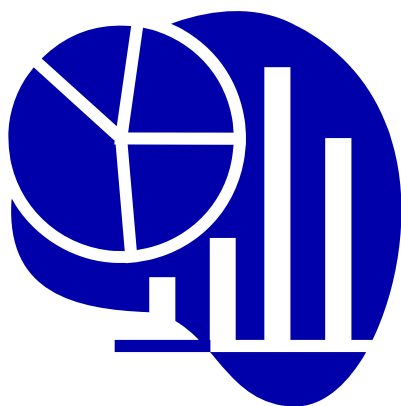


アンケート集計統合ツール
田園 V3 操作マニュアル

入力支援機能編



目次

目次.....	2
はじめに.....	1
第 1 章 入力支援機能の概要	2
データを分担して入力できます (プロフェッショナル版のみ)	2
第 2 章 入力作業の分担.....	4
1. クローン作成.....	5
クローン作成の準備	5
クローンの作成.....	6
2. ソースデータ結合	7
ソースデータ結合の準備	7
ソースデータの結合.....	8
3. 設問項目結合.....	10
4. ソースデータ連番設定.....	11
ソースデータ連番設定の操作	12

はじめに

「田園 V3」は Microsoft Excel を使用して、アンケートの設問の設定、回収したアンケートのデータ入力、複雑な集計を簡単に行うためのツールです。

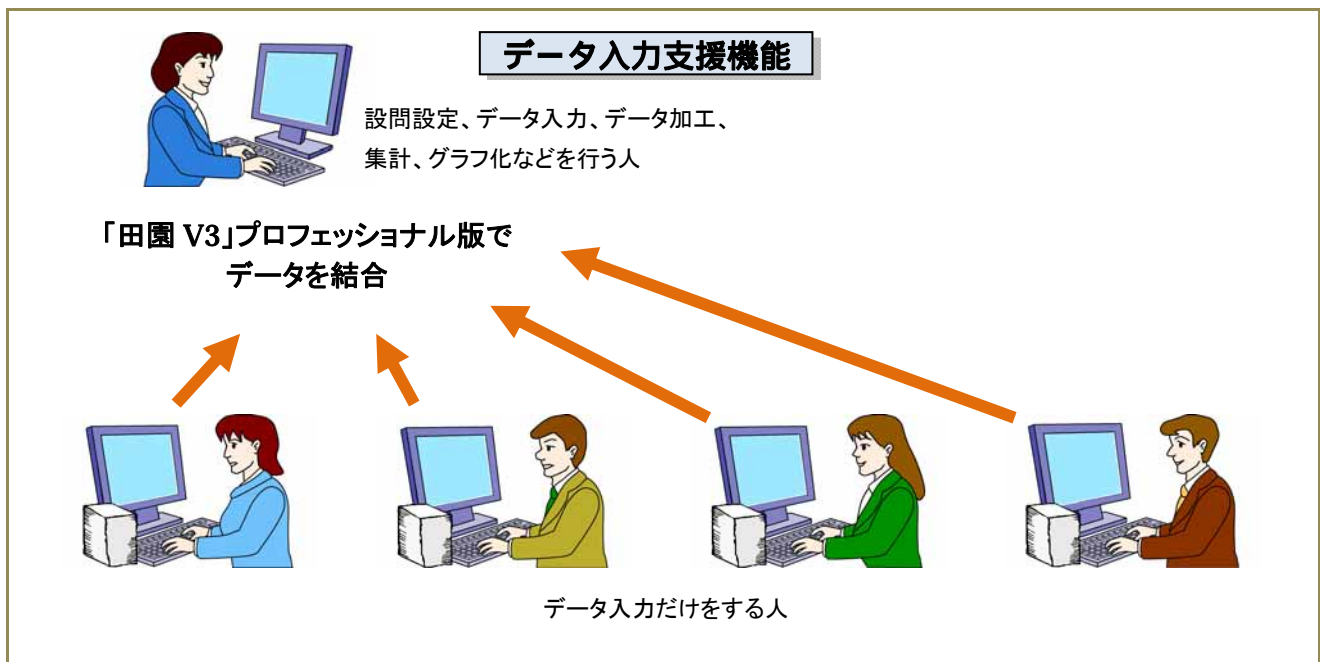
この分冊では、入力を複数人で分担する方法について説明しています。

第1章 入力支援機能の概要

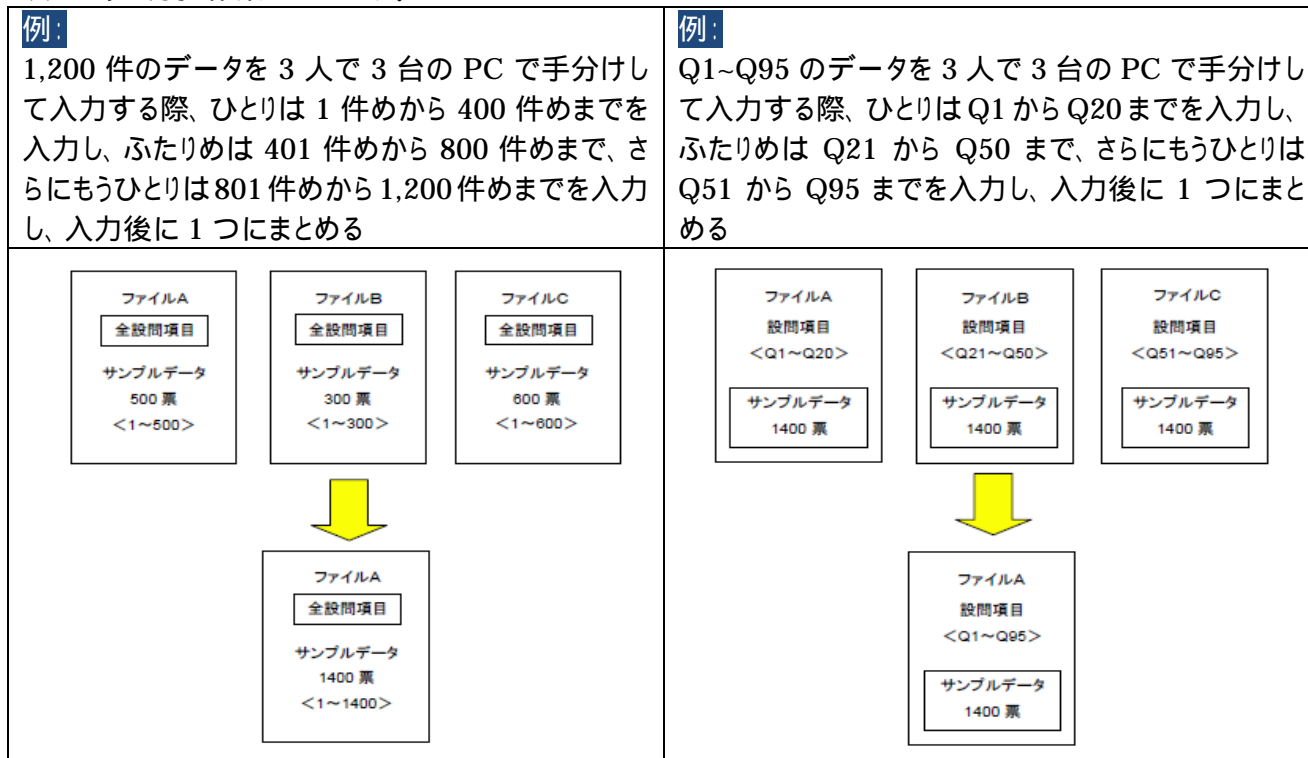
データを分担して入力できます（プロフェッショナル版のみ）

サンプル数（アンケート用紙の回収した枚数）が多い場合は、複数の人が分担してデータを入力しなければなりません。

「田園 V3」には、入力の分担作業を行うための入力支援機能があります。



次のような分担作業ができます。



入力支援機能を利用する場合、次のことに注意してください。

- 「プロフェッショナル版」のライセンスが最低 1 つは必要です。
- 入力作業は、デモ版を使って行えます。

第2章 入力作業の分担

「田園 V3 プロフェッショナル版」には、データ入力を複数人で分担して行う場合の作業を簡単に行えるようにするための、次の機能があります。
設問設定は、次のように行います。

1 クローンを作成します

複数人で入力を分担するために、入力用のファイルを作成します。(📄 5 ページ)

2 データを入力します

作成したクローンのファイルにデータを入力します。
入力作業は、「田園 V3 デモ版」で行うことができます。
📄 入力操作については、『データ入力編』を参照してください。

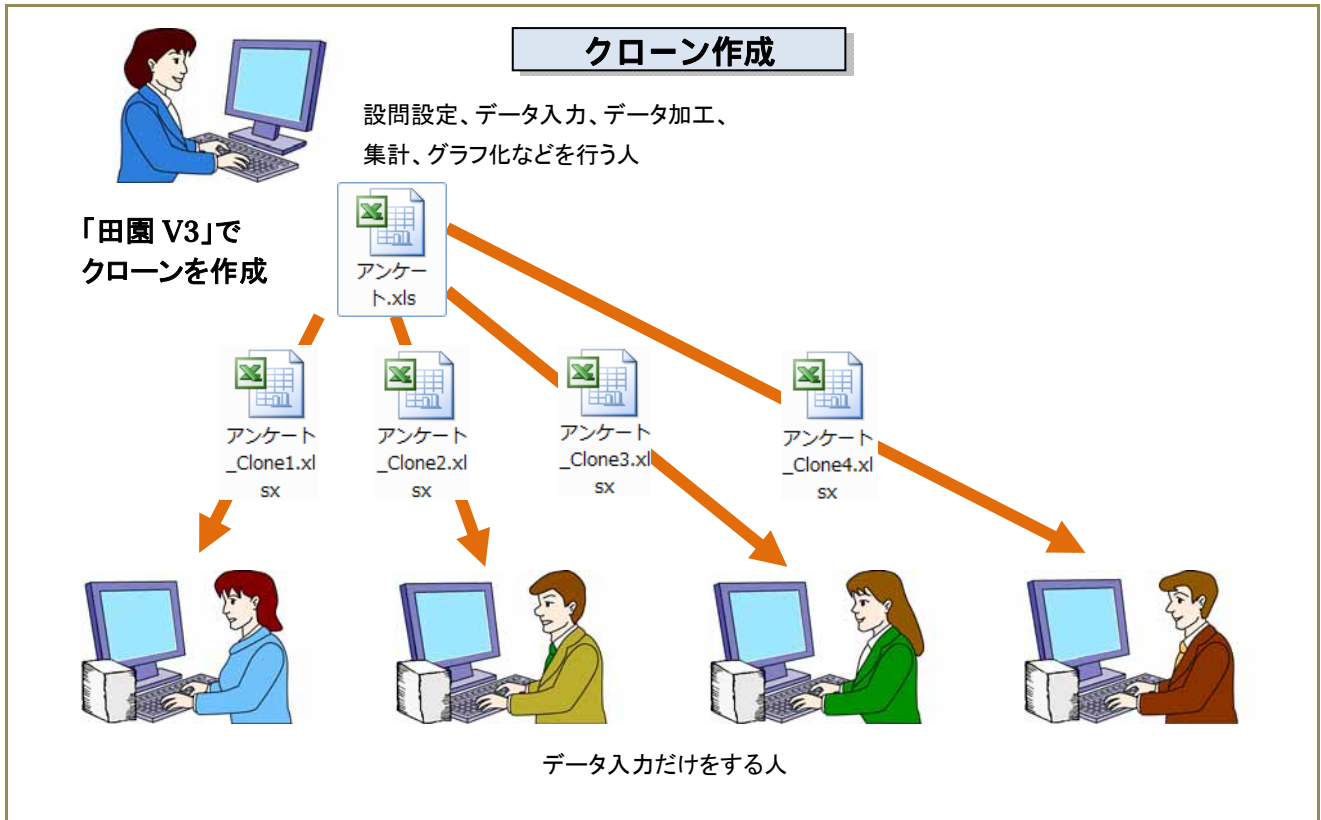
3 入力したデータを1つのファイルにまとめます

作成したクローンのファイルにデータを入力します。
この作業には、「田園 V3 プロフェッショナル版」が必要です。

- ソースデータ結合
回収したアンケート用紙をサンプル番号で分けて入力したデータを一つにまとめます。
(📄 7 ページ)
- 設問項目結合
アンケートの設問をいくつかのグループに分け、設問グループごとに別々に入力したデータをひとつにまとめます。
(📄 10 ページ)
- ソースデータ連番設定
サンプル(回収したアンケート用紙につけた番号)に連番をふり直します。
(📄 11 ページ)

1. クローン作成

クローンは、アンケートの入力をする準備として作成した4つのワークシートをそのままコピーした新しいブックのことを指します。設問設定で作成したファイルを、必要なだけコピーすることができます。



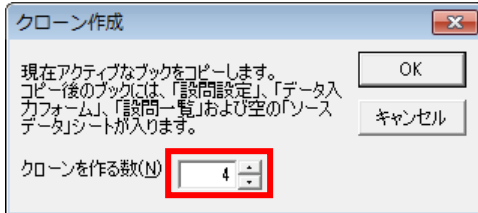
- クローンは、元のファイルに含まれるワークシートがコピーされます。
- 元のファイルにすでにサンプルが入力されている場合、そのデータはコピーされません。つまりデータが含まれない空っぽのシートが作成されます。
- クローンのファイル名
クローンは、オリジナルのファイル名に「_Clone??」という接尾語をつけた名前になります。
例えばオリジナルのファイル名が「満足度.xls」で、クローンを2つ作成した場合、クローンのファイル名はそれぞれ「満足度_Clone1.xls」、「満足度_Clone2.xls」となります。

クローン作成の準備

- クローンを作成する前に、オリジナルの「設問設定」を完成させておかなければなりません。
[田園 V3] - [設問設定・データ入力] - [設問設定作成編集]メニューを選択して、設問設定を行い、名前を付けて保存しておきます。
- [設問・選択肢一覧]シートは自動では作成されません。[田園 V3] - [設問設定・データ入力] - [設問一覧作成]メニューを選択して、作成しておいてください。

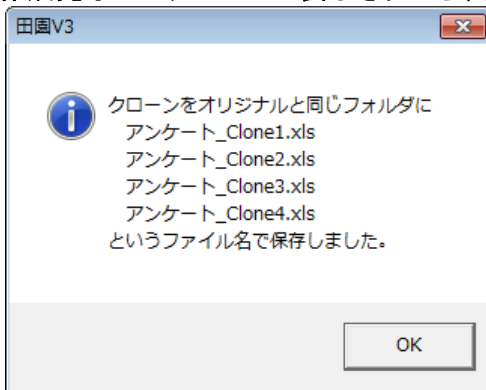
クローンの作成

- ①オリジナルのブックを開きます。
- ②[田園 V3]メニューー[データ入力支援]ー[クローン作成]を選択します。
次のウィンドウが表示されます。
- ③「クローン作成」ウィンドウで、作成するクローンの数を入力して[OK]ボタンをクリックします。



クローンが作成され、オリジナルと同じフォルダに保存されます。

- ④作成完了のメッセージが表示されたら、クローンのファイル名を確認して[OK]ボタンをクリックします。



すでにクローンが作成済みの場合は、より大きな数字がつけられることがあります。例えば「満足度_Clone1.xls」、「満足度_Clone2.xls」というファイルが存在する状態で新たにクローンを作成すると、新しく作成されるクローンのファイル名は「満足度_Clone3.xls」になります。



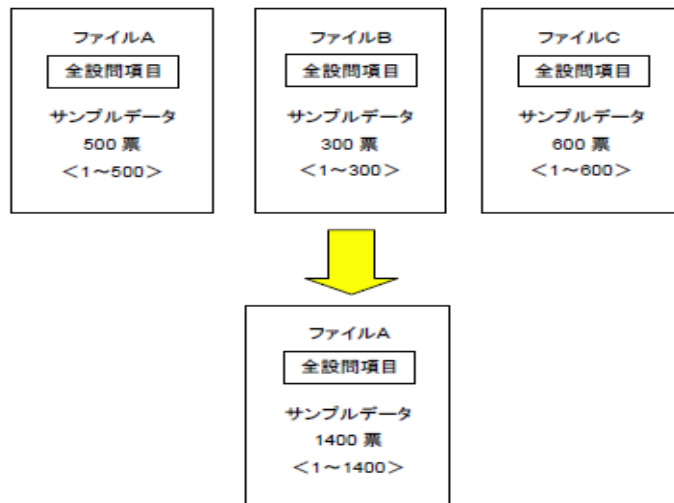
作成したクローンを取り扱うときは、次のことに注意してください。

- クローンのファイル名は、自由に変更してもかまいません。
- クローンに含まれるワークシートの名前は変更しないでください。
- 「田園 V3」では、クローンに対してデータ入力とデータチェック以外の処理は行わないでください。編集を行うと、オリジナルとの整合性がとれなくなって、データが結合できなくなることがあります。
- クローンを作成してからオリジナルを変更する必要がある場合は、再度クローンを作成しなおしてください。
- クローンは通常の Excel ブックです。フロッピーや USB メモリなどの手段を用いて、他の PC に自由に移動してかまいません。また、クローンを Windows の機能を用いてコピーしてもかまいません。
- クローンの設問設定を変更し、元のアンケートとは全く別のアンケートに利用することもできます。

2. ソースデータ結合

複数人でサンプルデータ入力を手分けして行った後、クローンの[ソースデータ]シートに入力したサンプルデータをオリジナルの[ソースデータ]シートにコピーし、データをひとまとめにしなければなりません。Excel のコピーおよび貼り付けの機能を用いてもまとめる作業を行うことができますが、若干面倒な作業になります。

「田園 V3」の「データ結合」機能を利用すると、オリジナルの[ソースデータ]シートとクローンの[ソースデータ]シートとの整合性をチェックし、オリジナルの[ソースデータ]シートに自動でデータをまとめることができます。



ソースデータ結合の準備

オリジナルの[ソースデータ]シートにデータをまとめるためには、別々のコンピュータ上にあるクローンを、CD-R や USB メモリなどを用いて「田園 V3」で処理できる場所にコピーしておく必要があります。

「田園 V3」が利用可能な Excel からクローンを開くことができれば、オリジナルと同じフォルダに格納されている必要はありません。共有フォルダにクローンを格納して、ネットワーク経由で開くようにしてもかまいません。

「田園 V3」を使用するコンピュータで、オリジナルとクローンとを両方開くことができる状態になっていれば、準備完了です。



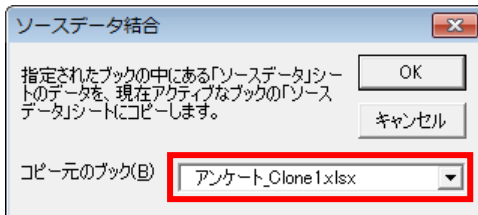
Excel では同じ名前のブックを同時に開くことはできません。したがって、オリジナルとクローンとが同じファイル名になっていると、作業を行うことができません。オリジナルとクローンとは必ず異なるファイル名で保存しておいてください。

	A	B	C	D	E
1	1	1 Q1購入回数	S	1	5
2	2	1 はじめて			
3	3	1 2回目			
4	4				
5	5				

ソースデータの結合

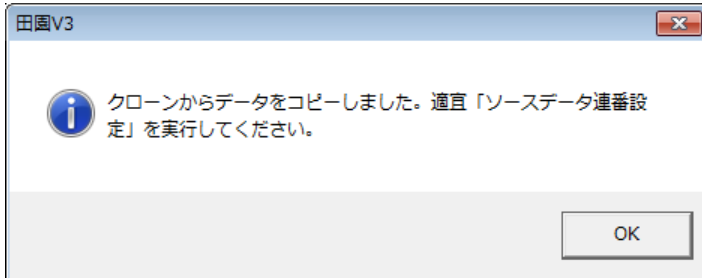
次の操作で、[ソースデータ]シートのデータを結合します。

- ① 「田園 V3」を使用するコンピュータで Excel を起動し、オリジナルとクローンの両方のブックを開きます。
- ② オリジナルのブックのウィンドウに切り替えて(アクティブにして)、[田園 V3]－[入力支援]－[ソースデータ結合]を選択します。
- ③ [コピー元のブック]のドロップダウンリストからクローンのブックを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



指定したクローンの[ソースデータ]シートからアクティブなブック(オリジナル)の[ソースデータ]シートにデータがコピーされます。

- ④ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



オリジナルのブックの[ソースデータ]シートが表示されます。

設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	
設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4	Q3-5	
設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味	満足度・全体	
サンプル番号	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	(5)	
103		2	4	1	7	3	2	3	1	2
104		2	3	2	8	1	2	4	2	3
105		5	2	3	N	3	2	3	2	1
106		2	2	1	N	1	1	3	1	2
107		5	3	5	N	1	2	1	1	1
108		1	6	2	1	2	2	3	1	1
109		5	N	N	N	3	3	1	2	1
110		2	2	3	7	1	1	1	1	3
111		1	1	2	3	1	3	2	2	2
1		1	1	3	5	1	2	2	1	3
2		3	1	5	4	3	2	1	3	3
3		4	7	3	5	3	1	1	2	2
4		1	6	3	2	3	2	3	5	1
5		5	1	2	3	1	3	2	2	2
6		1	2	3	7	3	4	4	4	4
7		3	1	2	P	3	2	1	1	2
8		5	7	2	5	1	3	2	2	2
9		3	2	3	5	3	4	5	5	5
10		1	N	N	N	1	3	2	1	2

- コピーしたデータは、図のように選択された状態で表示されます。



データ結合では、次のことに注意してください。

- 結合の処理時には、設問構成の整合性チェックが行われます。オリジナルとクローンの[ソースデータ]シートで設問構成が異なる場合は、次のエラーメッセージが表示され、結合は行われません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	h	●データ内容(数値)はカテゴリ番号です。カテゴリ番号は設問一覧シートを参照してください。 N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単数回答 <MA>:複数回答 <IN>:数値回答 <FA>:自由回答									
5		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>
7		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4	Q3-5
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味	満足度・全体
8	サンプル										
9	番号	カテゴリ数								(5)	(5)
11	1									1	3
12	2									3	3
13	3									2	2
14	4									5	1
15	5									2	2
16	6									4	4
17	7									1	2
18	8									2	2
19	9									5	5
20	10									1	2
21	11									5	4
22	12		4	3	5	2	N	4	2	2	N
23	13		3	2	3	5	2	2	1	1	2
24	14		5	4	1	5	1	3	2	2	1
25	15		2	5	4	6	2	3	2	2	2
26	16		1	2	4	5	2	4	2	1	2
27	17		3	4	5	3	1	2	2	2	1
28	18		5	4	2	3	2	4	2	2	2
29	19		3	3	5	1	2	4	2	3	2

田園V3

この列の構成が、コピー元とコピー先とで異なっています。構成をチェックしてください。
処理をこれ以上実行できません。エラーの原因を取り除いて、再度実行してください。

OK

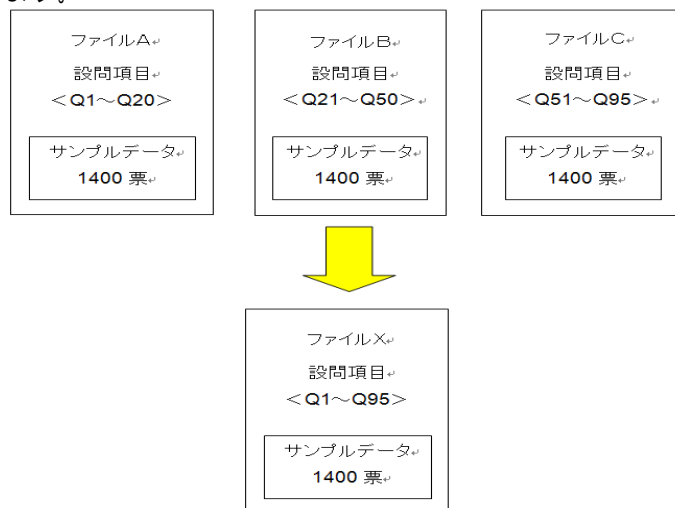
- データ結合は、一度にひとつのファイルしか指定できません。
クローンが複数個存在する場合は、データ結合の操作を繰り返し行ってください。
- データ結合の処理では、サンプル番号の重複や抜けなどはチェックしていません。同じクローンを2回結合しても、エラーになりません。
クローンに入力しているサンプル番号をあらかじめチェックしておいてください。また、結合の重複(同じサンプルを2回結合してしまうこと)や抜け(クローンの結合忘れ)が起こらないように注意してください。
- クローンのブックは、必要に応じて保存してください。

3. 設問項目結合

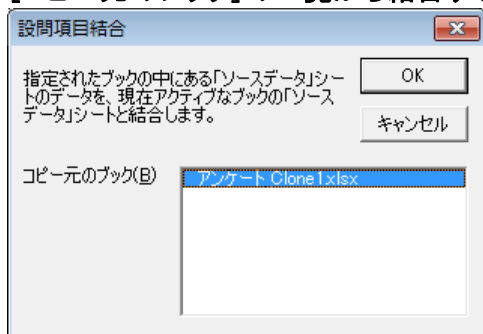
複数のアンケートテーマを、ひとつのアンケートテーマとして結合することができます。

「田園 V3」の「設問項目結合」機能を使用してひとつにまとめます。

例えば、機能 Q1~Q95 のデータを 3 人で 3 台の PC で手分けして入力する際、ひとりには Q1 から Q20 までを入力し、ふたりめは Q21 から Q50 まで、さらにもうひとりには Q51 から Q95 までを入力し、入力後に 1 つにまとめることができます。



- ① 「田園 V3」を使用するコンピュータで Excel を起動し、オリジナルとクローンの両方のブックを開きます。
- ② オリジナルのブックのウィンドウに切り替えて(アクティブにして)、[田園 V3]－[入力支援]－[設問項目結合]を選択します。
- ③ [コピー元のブック]の一覧から結合するクローンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



指定したコピー元の[ソースデータ]シートからデータが現在アクティブなブック(オリジナル)の[ソースデータ]シートに追加するという形で、すべてのデータが新しいブックにコピーされます。

- ④ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
オリジナルのブックの[ソースデータ]シートが表示されます。



設問項目結合では、以下ことに注意してください。

- 結合したいブック(結合元と結合先)をあらかじめ開いておきます。
- データ結合作業は、一度にひとつしか指定できません。
クローンが複数個存在する場合は、結合作業を繰り返し行ってください。
- 設問項目結合作業において、サンプル番号の重複や抜けなどはチェックしていません。同じクローンを 2 回結合しても、エラーになりません。データ結合の際は、サンプル番号をチェックして、重複(同じサンプルを 2 回結合してしまう)や抜け(クローンの結合忘れ)のないようにしてください。
- 設問項目結合後は、必要に応じて元のファイルを保存してください。

4. ソースデータ連番設定

複数人で入力したサンプルデータをひとつに結合した後、必要に応じてサンプル番号を整理します。

「田園 V3」では、サンプル No.を次のように扱っています。

- 「新規データ入力」機能では、サンプルを区別するために利用している
- 集計など入力機能以外では、サンプル番号が重複していても、番号が不連続でも処理には影響がない

しかし、サンプル番号をきちんと連番に整理しておくほうが望ましい場合が数多くあります。例えば「サンプル抽出」機能を用いて特定の条件にマッチしたサンプルを抽出する場合、どのサンプルを抽出したのか判断するにはサンプル番号以外ありません。

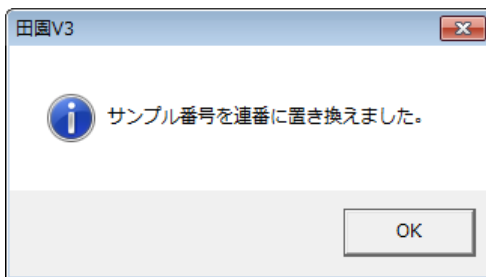
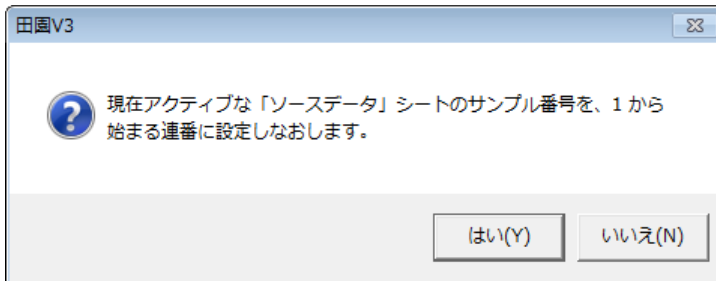
サンプル番号を連番に整理するには、Excelの「オートフィル」機能を用いることでも実現できます。しかしさらに簡単に、間違えず操作するために、「田園 V3」では「ソースデータ」シートのサンプル番号を整理する機能を用意しました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	h	●データ内容(数値)はカテゴリ番号です。カテゴリ番号は設問一覧シートを参照してください。 N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単数回答 <MA>:複数回答 <IN>:数値回答 <FA>:自由回答											
2													
3													
4													
5		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
6		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<MA>	<FA>
7		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4	Q3-5	Q4-1	Q4-1-
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味	満足度・全体	商品改善点	商品改善点・その他
8	サンプル												
9	番号	カテゴリ数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(7)	(1)
10													
11	1		1	1	3	5	1	2	2	1	3	P	P
12	2		3	1	5	4	3	2	1	3	3	P	P
13	3		4	7	3	5	3	1	1	2	2	P	P
14	4		1	6	3	2	3	2	3	5	1	P	P
15	5		5	1	2	3	1	3	2	2	2	P	P
16	6		1	2	3	7	3	4	4	4	4	2,3,5	P
17	7		3	1	2	P	3	2	1	1	2	P	P
18	8		5	7	2	5	1	3	2	2	2	P	P
19	9		3	2	3	5	3	4	5	5	5	1,3,5	P
20	10		1	N	N	N	1	3	2	1	2	P	P
21	1		5	4	3	2	2	4	1	1	2	P	P
22	2		3	5	2	1	2	2	3	3	2	P	P
23	3		5	4	1	2	1	3	2	1	1	P	P
24	4		1	8	3	2	3	2	2	1	3	P	P
25	5		2	4	1	5	2	3	2	2	2	P	P
26	6											2	P
27	7											3	P
28	8											2	P
29	9		3	5	4	3	2	3	2	1	3	P	P
30	10		1	3	2	5	3	2	2	3	1	P	P
31	11		2	1	5	6	2	1	1	1	3	P	P
32	12		4	2	3	4	1	3	2	3	1	P	P
33	13		1	4	6	2	1	3	1	1	3	P	P
34	14		1	4	5	N	2	3	4	5	4	N	P
35	15		1	8	5	2	4	5	2	3	3	P	P

この例では、ここを境にサンプル番号が重複している

ソースデータ連番設定の操作

- ① サンプル番号をふり直す[ソースデータ]シートをアクティブにします。
- ② [田園 V3] – [データ入力支援] – [ソースデータ連番設定]を選択します。
- ③ 作業を継続するかどうか尋ねるウィンドウが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



[ソースデータ]シート上のサンプル番号が自動的に1から始まる連番に整理されます。

	A	B	C	D
1	h			
2		●データ内容(数値)はカテゴリ番号で		
3		N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単		
4				
5		設問番号	1	2
6		データ形態	<SA>	<SA>
7		設問記号	Q1	Q2-1
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目
8	サンプル			
9	番号	カテゴリ数	(5)	(8)
10				
11	1		1	1
12	2		3	1
13	3		4	7
14	4		1	6
15	5		5	1
16	6		1	2
17	7		3	1
18	8		5	7
19	9		3	2
20	10		1	N
21	1		5	4
22	2		3	5
23	3		5	4
24	4		1	8
25	5		2	4
26	6		1	4
27	7		2	2
28	8		2	4
29	9		3	5
30	10		1	3
31	11		2	1
32	12		4	2
33	13		1	4
34	14		1	4
35	15		1	8



	A	B	C	D
1	h			
2		●データ内容(数値)はカテゴリ番号で		
3		N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単		
4				
5		設問番号	1	2
6		データ形態	<SA>	<SA>
7		設問記号	Q1	Q2-1
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目
8	サンプル			
9	番号	カテゴリ数	(5)	(8)
10				
11	1		1	1
12	2		3	1
13	3		4	7
14	4		1	6
15	5		5	1
16	6		1	2
17	7		3	1
18	8		5	7
19	9		3	2
20	10		1	N
21	11		5	4
22	12		3	5
23	13		5	4
24	14		1	8
25	15		2	4
26	16		1	4
27	17		2	2
28	18		2	4
29	19		3	5
30	20		1	3
31	21		2	1
32	22		4	2
33	23		1	4
34	24		1	4
35	25		1	8



ソースデータ連番設定では、以下ことに注意してください。

- 新しい連番は必ず1から始まります。
- データはワークシートの 11 行目から隙間なく並んでいるものとします。
- ワークシート名は「ソースデータ」であるものとします。「ソースデータ」という名前以外のシートには作業をすることができません。
- この「ソースデータ連番設定」は、「ソースデータ」シート上のサンプル番号を強制的に連番に整理する機能です。

「連番になっているはずだけど、それを確認したい」というニーズを満たすことはできません。例えば、サンプルデータは 100 件ちょうどであるはずなのに、最後のサンプル番号が「102」になってしまった場合、どこかにサンプル番号の「飛び」があるかもしれません。(あるいは、調査表の数え間違いかもしれません)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	h	●データ内容(数値)はカテゴリ番号です。カテゴリ番号は設問一覧シートを参照してください。 N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単数回答 <MA>:複数回答 <IN>:数値回答 <FA>:自								
2		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	
3		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	
4		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	
5		設問項目	購入回数	購入理由・1番 目	購入理由・2番 目	購入理由・3番 目	満足度・ 値段	満足度・ 具の量	満足度・ ルールの量	
6										
7										
8	サンプル									
9	番号	カテゴリ数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	
10										
101	91		1	5	1	N	2	2	1	
102	92		1	5	3	2	1	2	2	
103	93		5	3	5	2	2	2	2	
104	94		1	8	5	2	3	2	N	
105	95		2	3	2	5	2	1	3	
106	96		5	3	1	5	1	4	1	
107	97		3	3	2	5	2	2	2	
108	98		1	2	5	N	2	4	1	
109	99		4	1	2	5	1	5	1	
110	100		4	8	3	5	2	3	2	
111	101		1	3	4	1	1	1	2	
112	102		1	2	1	4	2	2	2	
113										
114										
115										
116										
117										
118										
119										
120										

アンケート集計統合ツール「田園」Version 3.0マニュアル
IV 入力支援機能編

2010年4月 1日 初版発行

2011年2月28日 改訂版発行

製作：テクノファイブ株式会社

発行者：テクノファイブ株式会社

〒617-0843 京都府長岡京市友岡西山17-40

TEL:075-955-7220 FAX:075-955-7240

著作権：Copyright©2010-2011 Technofive Corporation All Rights Reserved.

本製品のプログラムおよびマニュアルは、テクノファイブ株式会社が著作権および所有権を有しています。著作権者による事前の許諾なしに、いかなる手段による全部または一部の複写、再利用、第三者への提供もしくは使用の許諾、その他の処分をすることはできません。

本製品の内容は、予告なしに変更することがあります。

- 田園、畦道、蓮華は、テクノファイブ株式会社の商標です。
- MS、Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Visual Basicは、Microsoft Corporation の米国またはその他の国、あるいはその両方における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。